

○ 旭川医科大学病院DMATチームの派遣について

平成23年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震の医療支援として、藤田救命救急センター部長を中心とする医師2名、看護師2名、事務職員1名（藤田 智 救命救急センター部長、及川 欧 救命救急センター病院助教、練合 若菜 看護師、毛利 俊彦 看護師、見上直樹 経営企画課主任）の5名で構成される旭川医科大学病院DMATチームが、地震当日に本学を出発しました。翌日未明には新千歳空港から自衛隊機に搭乗し被災地に向かい、岩手県のいわて花巻空港を拠点に活動しました。現地では食料も不足する中、先着チームとして、被災直後の救急医療を行い、震災で骨折した人、海水を飲み込み呼吸状態の悪い人など緊急度を判断して患者のトリアージ・治療を行い医療機関へと送り出す活動を行い、同月15日に旭川医科大学に戻りました。

※DMATとは・・・

「Disaster Medical Assistance Team」の略で、大地震、航空機・列車事故その他、自然・大規模災害時に被災地に迅速に駆けつけて救急医療を行うための専門的訓練を受けた医療チームのことです。

岩手県 いわて花巻空港

